

学力調査

令和3年度全国学力・学習状況調査結果～概要と改善策～ 旭川市立永山中学校

調査日時：令和3年5月27日(木) 調査対象：第3学年生徒

	国語	数学
成果が見られる・おおむね達成されている主な設問	<ul style="list-style-type: none"> ・話合いの話題や方向を捉える ・質問の意図を捉える ・文脈に即して漢字を正しく読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたデータから中央値を求めることができる ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる
課題が見られる主な設問	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ ・相手や場に応じて敬語を適切に使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる
主な改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを明確にして推敲したり、読み手を意識した文章を書いたりする活動を多く取り入れるなどの指導の工夫を図る。 ・文章の読み取りなど、他者との交流を通して、自分の考えを再構築できるような活動を多く取り入れる。 ・「敬語」の学習について、国語の授業のみならず、校外学習などにおいても他者に対して適切な敬語を用いることができるように、教科横断的な指導の工夫を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料の活用」の学習に、資料の傾向を読み取ったり、説明したりする活動を取り入れるなど、指導の工夫を図る。 ・「図形」の学習に、図や言葉を用いて根拠などを適切に表現したり、論理的に説明し合ったりする活動を取り入れるなど、指導の工夫を図る。 ・「数と式」の学習に、文字を用いた式の計算や立式の練習をしたり、数量及び数量の関係を捉えて説明したりする活動を取り入れるなど、指導の工夫を図る。

質問紙調査

肯定的な回答の割合が高い質問	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている ・毎日、同じくらいの時刻に起きている ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う ・人の役に立つ人間になりたい ・人が困っているときは、進んで助けている ・友達と協力するのは楽しい
肯定的な回答の割合が低い質問	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んでいる ・今住んでいる地域の行事に参加している ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある ・自分で計画を立てて勉強している ・土曜日や日曜日など学校が休みの日の勉強時間
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している・・・ R2 66.1% R3 73.2% ・人が困っているときは、進んで助ける・・・ R2 90.6% R3 87.4% ・学校生活をよりよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている・・・ R2 66.9% R3 79.1%

学力向上に向けた今後の取組

- ・小中連携の9年間を見通した基本的な生活習慣と学習ルールの指導の工夫・徹底
- ・数学科における習熟度別指導、チーム・ティーチングの充実
- ・前時の振り返り「永中Review」やチャレンジテストの全学年での取組の推進
- ・家庭学習習慣の定着促進
- ・長期休業中の学習会の実施
- ・学期末の学習相談の実施
- ・ラインズeライブラリ「家庭学習ソフト」の活用
- ・ICT機器を活用した授業改善による個別最適化された学びの実現